

第 88 回政策研究大学院大学経営協議会議事要旨

- 日 時 : 2021 年 6 月 21 日 (月) 15 : 31~16 : 35
- 場 所 : オンライン開催
- 出席者 :
 - 〔学外委員〕
石田委員、今井委員、奥委員、嶋津委員、長谷川委員、林(康)委員、板東委員、
藪中委員
 - 〔学内委員〕
田中学長、黒澤理事・副学長、道下理事・副学長、木島副学長、高田副学長、
細江副学長、岡本大学運営局長
 - 〔オブザーバー〕 田代監事、林(礼)監事
- 欠席者 :
 - 〔学外委員〕 名取委員、林(文)委員
 - 〔学内委員〕 小島理事、

I. 審議事項

1. 2020 年度決算報告

岡本大学運営局長から、2020 年度決算について、財務諸表（損益計算書）の概要、及び奨学寄附金受入状況等の説明があり、これを了承した。

◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。(○：学外委員)

○：新型コロナウイルス感染症拡大の状況下においても、これまでの土曜日・夜間のプログラム開設等により、入学者数が増加していることを評価する。

2. 令和 2 事業年度に係る実績報告書について

岡本大学運営局長から、令和 2 事業年度に係る業務の実績報告書について説明があり、これを了承した。

◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。(○：学外委員、△：本学)

○：政策提言を実施していることを評価する。今後も積極的に政策提言を行ってほしい。

○：学生のワクチン接種はどうなっているか。

△：本学の規模だと職域接種の実施は難しい状況であるが、ワクチン接種に係るきめ細やかな情報提供を行い、希望者が接種を受けられるよう対応している。

○：新型コロナウイルス感染症拡大の状況下において、よく事業実施していると評価する。オンライン講義等の実施が定着しつつあるが、対面でしか得られないものもあると思うため、今後は可能であれば対面講義などの実施も検討いただきたい。

△：今後状況を踏まえ、検討、実施したい。

3. 第 4 期中期目標・計画(素案)について

岡本大学運営局長から、第 4 期中期目標・計画(素案)について説明があり、これを了承した。

◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。(○：学外委員、△：本学)

○：KPI のうち、達成が難しいと考えているものはあるか。例えば、女性教員比率は達成難しいように思われる。

- △：本学の優れた点についてはそれを維持していくなど、正当に評価を受けられるような計画を立てるというアプローチで設定している。着実に努力すればどれも確実に達成できると考える。
- △：そのなかで女性教員比率は、他の指標と比較すると、しっかりと計画的に対応しないと達成が難しい。外部要因により達成が左右される面があるが、本学が対応できることには取り組んでいきたい。
- ：大学としての組織的な取組が見えにくいように思う。政策提言など組織的に取り組んでいる事例もあるので、組織的な取組を充実してはどうか。
- ：英語による専門科目が全科目のうち6割、日本人学生の英語科目履修4単位は少ないように感じる。
- △：本学の日本人学生の多くは、省庁、地方自治体からの派遣で、1年で修士を取得するという特性から、英語から遠ざかっている者が多い。その中で本学に入学したからには、少なくとも英語の科目を履修し、留学生との交流を図ってほしいということを考えると、あまり多く履修させることも難しい。
- ：教員一人当たりの研究業績数年間概ね1件以上を維持という指標は、国際的に見てどういった水準か。
- △：分野によって、個人によって研究業績数は異なるという現状があるなかで、平均は1件を下回っているため、1という指標も低過ぎるということはないと考える。
- ：本学の大きな見失わないという目標のつくり方をしていただきたい。
- △：策定中のGRIPS VISION 2030で、大学の実質的な目標として、より積極的な目標を明示していきたい。

4. その他

特になし。

II. 報告事項

1. 2021年度政策研究センター事業の採択結果について

木島副学長から、2021年度政策研究センター事業の採択結果について報告があった。

2. その他

石田委員から、学長選考会議について、黒澤理事、道下理事、小島理事を学長選考会議の委員に加え、議長は石田委員、議長代行は奥委員となった旨の報告があった。

以上